

# 第28回

# 関市

# 私の主張大会

「第28回関市私の主張大会」が、2月6日、関市文化会館で開催されました。これは市内の中学2年生が、学校生活や日常の体験から自分の考え方や生き方、将来の目標などについて意見発表するものです。この日は市内の全中学校から各校代表11人が、約900人の中学2年生を前に「私の主張」を発表しました。最後に、同大会の生徒運営委員長より、いじめをなくすための「実行力を発揮したあいさつ運動についての提案」が発表されました。

照会先 学校教育課 ☎ 8125

## 今までの夢、今の夢



緑ヶ丘中学校 福田 莉子

私の夢は小学校の頃からずっと変わらず、パティン工になることだ。職場体験学習はケーキ屋さんを選び、お客様を大切にする工夫を学んだ。私は一番にお客様のことを思い、自分の作ったお菓子を食べて幸せを感じてもらえるようなケーキ屋さんになりたい。そのために今はまず、人の気持ちを考えられる人間になっていきたいと思っている。

## お年寄りとふれあって



旭ヶ丘中学校 林 和貴

お年寄りとふれ合うことが嫌だった僕は、福祉体験やボランティア活動に参加することで考えが変わった。自分の行いをこんなに喜んでくれる人がいることがうれしかった。これからも進んでボランティア活動に参加してたくさんの人とふれ合いたい。そして、思いやりの心を大切にして高齢化社会を共に生きていきたいと思う。

## 夢を叶える小さな目標



下有知中学校 山口 あい

私には夢がたくさんある。夢を叶えるためには、今の自分に合った目標を立てることが大切だと知った。私の今の目標は「弱点克服」である。自分から行動し、物事に積極的に関わるのが苦手だからだ。自分が成長できるように、小さな目標を立てながら夢に挑戦しようと思う。そして、夢を叶えるという大きな目標が達成できるようにがんばっていききたい。

(敬称略)

## 祖父の人生から

富野中学校 石竹 史人



僕は、80歳を超えた祖父を尊敬している。その理由は、祖父の生き方にある。例えば、僕と同じ14歳で仕事の訓練のために1人で大阪で働いたこと、68歳という年齢で高等学校に入学し、73歳で卒業したこと、さらに大学にも行き勉強を続けたことである。

僕も「勉強と努力」という祖父の生き方を手本に、努力を重ねていきたい。

## 自分を変えるのは自分

小金田中学校 高木 優



ある時、僕は周りの人から見放されていくのを感じた。このままではだめだと思ひ、まず生活のリズムを変えようと決意した。実行することは楽ではなかったが、最近は遅刻もなくなり、友達からも認められるようになってきた。

人は変わりたいと思えば、変わる事ができる。そして本物の自信が生まれる。自分を変えるのは自分なのである。

## なぜ勉強しなければいけないのか

桜ヶ丘中学校 福田 尚美



『なぜ勉強しなければいけないのか』という疑問に対して、私は小学生の頃から考えてきた。「生活するうえで必要になるから」という答えは、勉強が難しくなってきたら通じなくなった。中学1年、2年とさらに勉強する中で見つけた答え、それは「将来のため」と「過去の過ちを繰り返さないため」の2つだ。

## 家族の絆

洞戸中学校 武藤 裕



僕の家庭では何年も前からずっと家族みんなで夕食をとるという決まりがある。母のこだわりであり、当然のことだと思ふ。しかし、姉や兄が就職してからは家族そろつての食事ができなくなった。

久しぶりの家族そろつての食事から家族の大切さや自分を支えてくれた家族への感謝、そして、家族の絆を実感した。

## 仲間の存在

板取中学校 渡辺 つかさ



文化部の廃部により仕方なくバレー部に入った。しかし、試合に出るたびに仲間のバレーにかける思いと仲間の声の心強さを知り、部活に本気になった。私は今まで、チームやクラスの中に積極的に入ろうとしていなかった。でも、今私が頑張れるのは、仲間がいてくれるから。これからは自分から仲間の思いを知ろうと努力し、仲間の力になれるようにしたい。

## 子どもたちからもらった元気

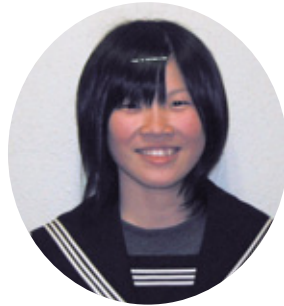
武芸川中学校 杉下 絵里華



「将来の夢は何ですか。」と聞かれるといつもその答えに困っていた。小学校での職場体験初日、「働くことは、こんなにも大変なのか。」と感じた。しかし、先生から「子どもの笑顔を見て、ごらん。」と言われ、私の職場体験は、とても楽しいものに変わったのである。今では将来の夢は、「小学校の先生になること。」と胸を張って、答えることができる。

## 人と人との支え合い

武儀中学校 二俣 麻美



私は中学生になって、周りの友達や家族との人間関係について考えることが多くなった。友達とのけんかをきつかけに、私はいつも優しい友達に支えられていることを強く感じるようになった。また、友達だけでなく、家族の支えがあるから、私は成長していると感じられるようになった。これからも人と人との支え合いを大切にしていきたい。

## 家族と仕事

上之保中学校 宇佐見 明里



職場体験学習では、働くことの大変さや喜びを学んだ。この体験を通して、仕事と家事を両立する母の大変さを理解し、感謝の気持ちが強くなった。最近では、あいさつを意識することで、私の生活が少しずつ変わってきた。これからも素直に、あいさつや感謝の気持ちを伝えていきたい。